

「今後の県立高等学校教育の基本的方向」の見直しに向けた意見（報告）構成案

※ この資料では、本委員会から岩手県教育委員会に対して提出（答申）を行う意見書の構成を案として整理しています。第3回の委員会における意見の方向性の議論を踏まえ、次回の委員会においては、意見の具体案を提案する予定です。

はじめに

これまでの経緯、見直しが必要な理由、検討の概要等について記述。

1 県立高校を取り巻く現状

県立高校の現状、特に震災以降の状況等を中心に記述。

2 県立高等学校新整備計画期間満了後の取組状況及び新しいタイプの学校等の検証

期間満了後の学級数調整の状況、新しいタイプの学校等について検証結果について記述。

3 見直しの論点

委員会で議論した見直しの論点について分析の上、基本的方向の項目毎に整理し、委員会としての今後の見直しの方向性について記述。

第1章 岩手の高校教育の状況

1 岩手の高校教育の状況

（論点1）東日本大震災津波による被災の状況、影響等

2 岩手の高校教育が目指すもの

(1) 高校教育の目的と人財育成の視点

（論点2）復興に向けた人財育成

(2) 高校教育の質と機会の保証

第2章 今後の高校教育の充実

1 義務教育から高校教育への円滑な接続

（論点3）義務教育との連携及びキャリア教育の充実に向けた取組

2 高校教育の充実

(1) 教育内容の充実

(2) 教員の資質・能力の向上

(3) 学校経営等の充実

（論点4）特別な支援を必要とする生徒増への対応の方向性

第3章 学びの環境整備の考え方

1 今後の環境整備の考え方

(1) 学級定員及び学校の規模

（論点5）1学級の定員

（論点6）望ましい学校規模

（論点7）小規模校への対応

(2) 教育機会の保証

（論点8）学区の在り方

（論点9）統合した場合の通学に対する支援に向けた方策

(3) 地域や産業界との連携

2 学校(学科)の配置

（論点10）就職の割合が高い普通高校の在り方

（論点11）復興と関連した工業系学科の在り方

（論点12）復興と関連した水産系学科の在り方

（論点13）総合学科高校の在り方

おわりに

論点を中心とした見直しの方向性についてのまとめを記述。